

## 「まちあるき」は、「まちづくり」

まちの  
宝物

**現状認識:** 隠れた歴史(伝承、伝説)、風習、住む人の生活、物語、事件、もの(建物、自然、地形、動植物)、産業(農水産業、工業)

これから磨き輝かせる素材を見逃さず

気づいたことを記録しよう。

※ 地域の人(特に歴史を生きるお爺ちゃん、お婆ちゃん等)から生きた情報を頂こう。

地域の記憶を呼び起こせ!(まちづくりの背骨)

**愛着と誇りのもてるふるさと(舞台)づくり**

- いろいろな立場から地域を視よう(年齢、性別、職業等)
- 「こんなものだ」と思い込まない、決めつけない。  
地吹雪体験ツアー(青森県金木)⇒脱・常識的発想
- 他の地域と比較してみる。  
人気のある地域との比較⇒比較異

**みつける ⇒ つくる ⇒ みがく** 住んでよし、訪れてよし。

まちの  
魅力を知

**自分の地域に対する愛おしさ、自信の醸成**

人が行き交うこと(人の目)による地域の磨きかけ

地域住民相互の交流、地域外からの来訪者の快適さ

**参加者は、観光客そして市民⇒来訪者**

知らないまちの異文化に触れて新鮮な興味を覚える。

- アンケートでのニーズの把握  
期待と満足度を把握する⇒反省、再発見、将来性

まちのこまかな記憶を次の世代へいきいきと伝え、  
まちの歴史を立体的にしていく。

他の人にも  
観て  
知って  
欲しい

**このまちに住み、このまちで生きてゆく充実感**

**⇒自分のまちに手ごたえを感じる。**

多くのガイドさんと充実した活動⇒まちあるきのまち

**「地図をつくり、ガイドを定番化する」**

⇒豊かな交流のあり方が実現

**人×時間×満足度**

**興味深い刺激的な観光**

**ありのままの暮らしと住民のすなおな**

**心情で成立する観光の手法**

来訪者が地域の消費経済を回転させる。

⇒まち興し ⇒シビックプライドの確立

集散往来による地域活力の向上

まちづくり  
まちあるき観光  
まち興し